

「NIEとインターネット」プロジェクト報告

仙台市立長命ヶ丘小学校
教諭 今藤正彦

1 はじめに

平成 14 年度からの総合的な学習の時間の本格的なスタートを目前にし、教育に新聞を活用する NIE の取り組みが注目を集めている。児童の主体的な問題解決活動を中心とする総合的な学習には教科書はなく、身近な情報源である新聞が見直され活用される場面が増えそうである。

一方、近年急速に社会の情報化が進み、情報教育が重視されるようになった。小学校においても、児童がインターネットを利用して主体的に情報を収集する姿が日常的に見られるようになった。各新聞社もホームページを開設しており、最新のニュースを速報している。さらに、新聞記事のデータベースも、インターネットを通じて検索できるようになった。価値ある情報源として、効果的な教育利用が望まれる。

以上のことを背景に、宮城県 NIE 推進委員会小学校部会では、インターネットを利用した NIE 実践の可能性を探ることを目的として、平成 11 年 4 月に本プロジェクトを発足した。平成 13 年 3 月までの 2 年間に、主に新聞社データベースの活用を中心に研究実践に取り組んだ。

2 プロジェクト活動経過

1999. 4. 1	プロジェクト発足
1999. 5. 10	平成 11 年度第 1 回 NIE 小学校部会 ・プロジェクト紹介と勧誘
1999. 7. 17	プロジェクト準備会 ・「総合的な学習と NIE」についての基調提案の確認 ・第 2 回小学校部会の事前打ち合わせ
1999. 8. 24	平成 11 年度第 2 回 NIE 小学校部会（東六番丁小） ・パネルディスカッション（プロジェクトの概要説明）
1999. 9. 24	プロジェクト準備会 ・プロジェクト活動計画について話し合い
1999. 11. 18	新聞社データベース（KD）を利用した授業実践（中山小）
1999. 11. 26	NIE 小学校部会運営委員会（松稜小） ・プロジェクト活動経過報告
2000. 1. 12	平成 11 年度第 3 回 NIE 小学校部会（東長町小） ・プロジェクト実践報告
2000. 3. 22	NIE 小学校部会臨時運営委員会（中山小） ・新年度の予定について
2000. 6. 14	平成 12 年度第 1 回 NIE 小学校部会 ・活動計画確認
2000. 7. 27	NIE 小学校部会運営委員会（松稜小）
2000. 9. 13	平成 12 年度第 2 回 NIE 小学校部会（大沢小） ・新聞社データベース活用研修会 ・プロジェクトチーム話し合い
2000. 10. 4	平成 12 年度宮城県 NIE 研修会（八木山小） ・プロジェクト中間報告
2001. 3. 31	プロジェクト終了

3 NIEとインターネット

(1)総合的な学習とNIE

受信型知識 発信型知性（同一性から多様性へ）～取材・体験・情報発信
日常的に社会の出来事に関心を持つ活動 < 新聞に親しむ >

- ・興味を持った新聞記事の切り抜き
- ・新聞社のホームページ閲覧

問題解決のために特定の情報を集める活動 < 新聞を活用する >

- ・問題解決に必要な新聞記事の切り抜き
- ・新聞社のデータベースによる情報検索

集めた情報を再構築して自分の考えを発信する活動 < 新聞を発行する >

(2)総合的な学習とインターネット

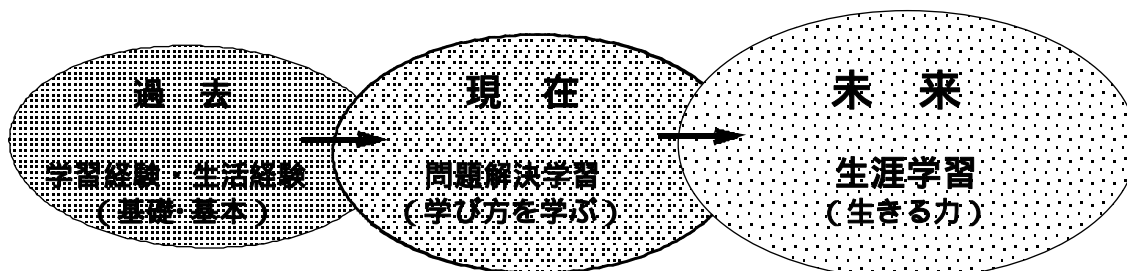
総合的な学習では、問題解決学習を通して生涯学習の基盤となる「学び方」を学び、**問題解決能力**を培う。

問題解決に必要な情報を書籍やインターネット等から収集・選択したり、研究内容をコンピュータのワープロソフトでまとめて発信したりすることで、**情報活用能力**を養う。

情報活用の一手段として**インターネット**を利用する。

インターネットの特性…検索性、リンク性、速報性、電子的保存・加工性

政府による「教育の情報化」計画により、今後各教室からインターネットへ接続可能。



(3)NIE とインターネット

新聞社のホームページへのアクセス

- ・児童用パソコンにリンク作成、主体的に情報選択・閲覧

新聞の街角 <http://www.threeweb.ad.jp/~harahara/>

新聞社データベースでの情報検索

- ・キーワード入力により目的を持った情報収集
- ・学校教育利用に限る格安料金のデータベース

河北新報 <http://www.kahoku.co.jp/>

インターネットで追究

- ・新聞記事を読んでもっと詳しく知りたいと思ったことを、インターネットで追究する。

(4)NIE と情報活用能力

新聞記事を読み、その内容を正しく理解できる。

(情報理解力)

複数の新聞を読み比べるなど、記事の内容を客観的に吟味できる。

(情報批判力)

新聞の見出し、リード文、写真等から必要な記事を選択できる。

(情報選択力)

情報源の一つとして、新聞(データベース)を上手に活用できる。

(情報収集力)

収集した複数の新聞記事から、必要な情報を再構成できる。

(情報処理力)

新聞から得た情報をもとに自分の考えを練り上げまとめることができる。

(情報生成力)

新聞を発行して情報を広く発信することができる。

(情報伝達力)

4 実践の概要

(1)平成 11 年度中山小の取り組み

仙台市立中山小学校 6 年 1 組において、河北新報社データベース (KD) の試用を行った。まず、9 月にインターネットで新聞社のホームページを自由に見た後、各自テーマを決めて新聞記事の切り抜きを始めた。次に、11 月 18 日に河北新報社情報局の 2 名の方より、10 台のコンピュータを使ってデータベースのしくみと使い方を教えていただいた。その後、国語の学習として、児童が集めてきた切り抜きとデータベースで調べた記事を中心にし、考えたことや感想も含めて模造紙にまとめた。広く社会の出来事に目を向けさせることと情報活用能力の育成を主なねらいとした。

本実践により、新聞記事の中には小学生にとって難解な語句があるものの、データベースそのものは高学年であれば調べ学習に十分活用できることが分かった。この学級では 2 か月間新聞記事の切り抜きをさせていたので、瞬時に目的の記事を検索できるデータベースの便利さを十分に実感できたようだ。また、地方紙だと地域の記事が豊富なので、インターネットのホームページに出ていないようなことでも検索できた。また、本実践後、学校教育利用限定の格安料金が設定された。

< 授業後の児童の感想 >

- ・自分の記事がちゃんとあったので感激！！
- ・ぼくは KD のすごさに驚きました。これからも、コンピュータの楽しさをいろんな人に教えてあげてほしいです。
- ・私は新聞の切り抜きをしているとき、「めんどくさい！」と思っていた。けど、データベースを使えばとても楽になった。これなら調べ学習などでも使えるし、本で調べるよりいろいろなことを知れると思った。これからも使いたい。学校で使えば便利だと思った。あと写真をカラーにしてほしい。
- ・私は環境問題について調べていて、新聞を切り抜いています。たまに見逃してしまったりするけど、コンピュータで探すととても見やすく、ほしい情報がすぐ手に入っていると思いました。また使ってみたいです。
- ・新聞を一つ一つ調べたらものすごい時間がかかることを、コンピュータではすぐやってしまうのでびっくりしました。それに、たくさんのデータが出てきてすごいと思いました。また使ってみたいです。
- ・記事が数秒で出てくるのはとても便利。だけど、キーワードをどういうふうに入れるか迷った。イメージで出てきた記事は、新聞のようにごちゃごちゃしていなかったのも、とても見やすかった。古い順、新しい順に並んでいたのも見つけやすかった。
- ・廃品回収に出してしまった新聞でも、記事を見返したりできるし、時間もあまりかからないので、調べたりする時にすごく便利だと思いました。いつか、新聞は配達じゃなくて、こういうふうに見られたら、見たい記事を素早く見られて便利になると思います。

< 授業後のアンケート >

今日の KD を使った授業はどうだったか？

- ・おもしろかった 30 名
- ・ふつう 4 名
- ・つまらなかった 1 名 (自分が検索できなかったからという理由)

KD は便利か？

- ・便利だ 35 名
- ・そうは思わない 0 名

学校でこれからも KD を使いたいのか？

- ・ぜひ使いたい 33 名
- ・たまに使いたい 2 名
- ・使いたくない 0 名

家で使ってみたいか？

- ・使ってみたい 33 名
- ・そうは思わない 2 名 (学校でやれば十分だという理由)

(2)平成 12 年度東長町小の取り組み

仙台市立東長町小学校では、河北新報社データベース（KD）を10台分契約し、年間を通して総合的な学習の時間などに活用した。

5年生では、1学期に環境をテーマとした新聞スクラップ活動に取り組んだ。さらに7月14日には、「これは便利！インターネットから新聞記事がザクザク」と題してデータベースを利用した学習を行った。まず、河北新報社情報局の2名の方にデータベースの使い方を説明していただいた後、前半と後半に分かれて環境問題に関する新聞記事を検索した。

児童はそれまでに、切り抜いた新聞記事を、「自然環境」、「ゴミとリサイクル」、「食環境」、「エネルギー」、「その他」に分類する活動を行っており、情報収集や情報整理の力が高まっていた。このため、データベースを利用する際にも、「環境ホルモン」、「ダイオキシン」といった検索するためのキーワードを的確に入力して、必要な情報を容易に入手することができた。このデータベース検索のために見つけ出したキーワードが、その後の児童一人一人の研究テーマの決定につながっていくという効果もあった。

本実践により、新聞社のデータベースは、高学年における総合的な学習の時間の情報収集の一つの手段として、とても有効であることが分かった。

ただし、新聞記事によっては、内容が難しく児童の力だけでは理解できないことがあり、教師の補説や保護者の協力も必要であるといえる。また、検索に際して「遺伝子組み替え」では見つからず「遺伝子組み換え」で出てきたという言葉の問題も生じた。データベースを十分に活用するためには、児童の国語力を高めることも大切となろう。

(3)平成 12 年度新田小の取り組み

仙台市立新田小学校では、小学校部会からのKD利用補助を受けて、以下の実践を行った。

4年総合的な学習「みんななろうよ！エコ人に」（環境）

研究テーマを「酸性雨の被害について」にした子が、発表資料作りの中で、酸性雨によって森が枯れている写真が欲しいと申し込んできたため、教師が検索。

代表委員会

議題「トイレの使い方を考えよう」の話し合いの時、補助資料としていろいろな明るいトイレ改造計画に関する記事を検索し、活用した。

4年社会科「あたたかい地方の暮らし」

沖縄の暮らしを調べていく中で、親戚から「琉球新報」を送ってもらった子がいた。比べるために、同じ日付の仙台の新聞が必要となり、検索。

課題

1IDでは、教師がやってみせるのが主になるので、なかなか授業に活用できなかった。教材研究に主に使用した。

5 まとめ

小学校部会では、計8名がKD利用の補助を受けて、河北新報社のデータベースを学習や教材研究に役立てている。また、9月に仙台市立大沢小学校で開催した新聞社データベース活用研修会も好評であった。IT（情報技術）が急速に進展する今日、児童に生きる力の基礎・基本を身に付けさせ、豊かな人間性や社会性を育むためにも、情報の活用能力を育てることがとても大切になると考える。

平成12年度に、仙台市立長命ヶ丘小学校6年生が総合的な学習で個人研究に取り組んだ中で、児童の情報収集手段としてはインターネット、図書に次いで新聞が3番目に多かった。新聞は児童にとって身近な情報の宝庫であり、教師が教室で新聞を取り上げる機会を意図的に設定していくことで、児童の新聞に対する興味・関心や親しみも増してくるものと考えられる。さらに、インターネットの普及に伴い、新聞社のホームページやデータベースも手軽に利用できるようになってきた。

今回のプロジェクトの実践を通して、インターネットを利用したNIEの可能性と手応えを十分に実感することができた。今後は、新聞紙とインターネットそれぞれのよさを生かしながら、さらに工夫してNIE活動に取り組んでいきたいと思う。